

令和 6 年 3 月 26 日
北九州市産業経済局

報道機関各位

北九州市から3年連続受賞！

経済産業省選定「DX セレクション 2024」において、 市内企業の(株)西原商事ホールディングスが準グランプリ受賞！

経済産業省では、中堅・中小企業等における DX（デジタルトランスフォーメーション）の優良事例をモデルケースとして選定し、各地域や業種内での横展開を図ることで、DXの取組を一層活性化させることを目的として、2022年より「DXセレクション」を実施しています。

このたび、「DXセレクション2024」において、市内企業である(株)西原商事ホールディングスが準グランプリを受賞しましたのでお知らせいたします。なお、市内企業が受賞したのは、2022年の(株)リョーワ（準グランプリ）、2023年のランド印刷(株)（準グランプリ）および(有)ゼムケンサービス（審査員特別賞）に続き、**制度創設以来3年連続となる快挙**です。

なお、(株)西原商事ホールディングスは北九州市独自のDX表彰制度である「令和5年度北九州DX大賞」にて、グランプリを受賞されています。

1 DXセレクション2024について

エントリー方法：地方公共団体等による推薦、もしくはDX認定取得企業による自薦

募集期間：2023年11月21日～2024年1月19日

審査：中堅・中小企業等のDX推進に向けた検討会
(座長 岡田 浩一 明治大学経営学部教授)

2 受賞内容

企業名	取組概要
【準グランプリ】 (株)西原商事 ホールディングス (廃棄物収集業)	自社の業務の生産性向上を実現するだけでなく、これをサービスに発展。ビジネスの範囲が北九州市内だけに留まらず、全国への展開を実現。近年では脱炭素などにも資するサービスへとさらに展開を続けており、DXだけでなくGX（グリーン・トランスフォーメーション）に向けて自社の変革を続けることで、社会課題の解決にも取り組む。

【参考】**グランプリ**（1社）浜松倉庫(株)（倉庫業・静岡県浜松市）**準グランプリ**（4社）(株)西原商事ホールディングス、(株)リノメタル（金属加工業・埼玉県八潮市）、(株)トーシンパートナーズホールディングス（不動産業・東京都武蔵野市）、山口産業(株)（製造業・佐賀県多久市）

写真：経済産業省での
表彰式の様子



■参考URL

DXセクションについて（経済産業省）

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-selection/dx-selection.html

DXセクション2024 選定企業レポート（経済産業省）

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-selection/dxselection2024report.pdf

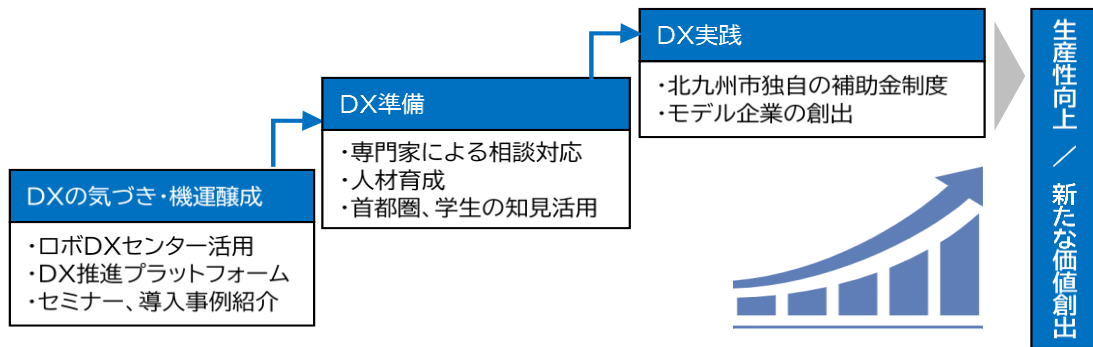
西原商事ホールディングス(株)

<https://www.nishihara-corp.jp/>

■北九州市のDX施策

DXの気づきから、専門家によるアドバイスや診断、人材育成、実践時の補助金制度など、切れ目のない伴走支援体制を構築することで、北九州市からDX実践企業を多く生み出し、市内企業の生産性向上および新たな価値創出を実現していきます。

なお、本取組は地域課題の解決や住民の暮らしの利便性と豊かさの向上、地域の産業振興につながる自治体のデジタル技術を活用した取組を表彰する「夏のDigi 田甲子園」において、内閣総理大臣賞・優勝を受賞するなど、評価を頂いているところです。今回受賞の(株)西原商事ホールディングスをはじめ、多くの市内企業が本施策を活用されています。



DX推進プラットフォーム

DXを推進したい市内ユーザー企業とデジタル化やデータ活用等を提案できるサポート企業をつなぐプラットフォームを創設(令和2.12)。408社参加

DXに関する困りごとの相談

ニーズ・シーズのマッチング
ユーザー企業のニーズとサポート企業のシーズが把握でき、スピード感をもって解決可能

労働生産性の見える化
自社の成長度、全業企業内での立ち位置が把握可能

プラットフォーム
ホームページ

プラットフォームでは、次ページ以降記載のセミナー、相談、補助事業等を通じてDXを推進。

会員数 408社 (令和5.3時点)
ユーザー企業 243社 (市内企業に限る)
ベンダー企業 165社 (市内外を問わず)
代表企業 (株)YE DIGITAL
事務局 北九州市、北九州産業学術推進機構

北九州市ロボット・DX推進センター

令和4年4月に、北九州学術研究都市に北九州市ロボット・DX推進センターを開設。これまで以上に市内企業のロボ導入・DX実践に向けた支援を加速。

ロボット・DX推進センター

場所 北九州学術研究都市(技術開発交流センター1階)

業務内容

- 生産性向上に関する啓発
- 相談対応やアドバイス
- ロボット、IoT、デジタル化などの先端技術の導入支援
- 人材育成支援
- 地域企業とベンダー、市内大学との連携促進

地点の機能

- ①導入総合支援機能 DXに向けた総合的な導入支援を実施
- ②体験機能 デジタル技術やロボットなどを気軽に体験
- ③人材育成機能 企業向け人材育成、大学生のインターンシップ型アルバイト
- ④集いの場 地域企業、ベンダー、大学、金融機関等の集いの場を創出

※産学官の連携による充実化を図る

人材育成支援

地域企業の人材育成は重要。経営者のマインドセット、企業内人材の育成に加え、首都圏人材、地元大学の知見も有効活用し、企業のDXを進めていく。

<p>社内人材育成</p> <p>経営者のマインドセット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次産業革命への対応力を経営トップ自らで検討できる ・日本で唯一のビジネススクール開催 ・70人以上受講 	<p>企業内人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場リーダー・従業員を対象にデジタル、IoTを学ぶ講座開催 ・1万円以下で導入できるラズベリーパイなど取り扱がやすいテーマ ・講座を通じて、DX実践につなげていく
<p>社外人材活用</p> <p>首都圏人材活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州に貢献したい首都圏の人材と市内企業をつなぐ事業を実施 ・令和3年度新規事業 ・不動産DX、事業再構築DXなど20件以上の案件創出を目指す 	<p>地元大学活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給インターンシップでは、企業のデジタル化の課題を、ITに強い地元大学生が解決。 ・企業のDX推進と学生の成長の双方の実現に寄与。地元企業を知ることで学生の地元就職も期待。

DX推進補助金

ユーザー向け補助金制度。社員教育や事前検討、システム導入まで網羅的に補助。専門コンサルによる伴走支援も実施。令和2年度26件、3年度47件、4年度81件の支援実施。

補助金種類	デジタル化枠	DXモデル百成枠	DXモデル枠
	生産性向上を図るため、市内中小企業が実施するDXの各種取組み経費の一部を補助。		
概要目的	社内の業務効率化から始めたい事業者様向け	ビジネスモデル企業に向けた裾野拡大から始めたい事業者様向け	新ビジネス創出等、デジタルトランスフォーメーションを加速させたい事業者様向け
交付上限	最大80万円	最大200万円	最大500万円
補助率	対象経費の1/2以内	対象経費の2/3以内	対象経費の2/3以内
対象経費	人材育成・教育経費、製品サービス開発経費、システム導入・環境整備・その他付帯経費		

【問合せ先】産業経済局 次世代産業推進課
担当:大庭(課長)、佐藤(担当係長) 電話:093-582-2905
【取組みの内容について問合せ先】(株)西原商事ホールディングス
企画部長 成田 電話:093-644-0158